

小規模企業景気動向調査

[平成28年6月期調査]

～建設業が持ち直したものの、全体として横ばいの小規模企業景況～

2016年7月27日
全国商工会連合会

<調査概要>

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：2016年6月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

<産業全体> ◇…建設業が持ち直したものの、全体として横ばいの小規模企業景況…◇

6月期の小規模企業景気動向調査では、産業全体の業況DI(景気動向指数・前年同月比)は不変となった。項目別に見ると、売上額DIは小幅に悪化、採算DIはわずかに悪化、資金繰りDIは若干の改善となった。経営指導員からは、地域経済に大きな変化はないが、建設業の動きが活発であるとの報告がある一方、前年と比較して個人消費が伸び悩んでいるため購買力の低下により、特に小売業の悪化が顕著になっているとの報告があった。

<製造業> ◇…繊維・食料品関係で仕入れ等のコスト増加により採算が悪化した製造業…◇

製造業の業況DIは、若干の悪化となった。項目別に見ると、売上額及び採算DIは小幅に悪化、資金繰りDIはわずかに悪化となった。経営指導員から、悪化材料として、①輸出関連は、円高や海外の生産体制縮小により引き続き低迷傾向にある、②食料品製造業で仕入単価の高騰により採算が悪化している。また、好転材料としては、自動車関連や金属関連で受注が増加しているとの報告があった。

<建設業> ◇…原材料の高騰が一定の落ち着きを見せ、小幅に持ち直した建設業…◇

建設業の業況DIは、小幅に改善となった。項目別に見ると、売上額DIはわずかな改善、採算及び資金繰りDIは、小幅の改善となった。経営指導員から、好転材料としては、①リフォーム工事の受注が増加している、②堅調に推移しているが昨年より上がり幅は落ち着いている。また、悪化材料として、①原材料の高騰はやや安定したが、依然として人手不足が経営課題となっている、②手持ち工事数が例年より少ない、③公共工事の発注減による価格競争が厳しいとの報告があった。

<小売業> ◇…個人消費の落ち込みにより、売上が大幅に悪化した小売業…◇

小売業の業況DIは、若干の悪化となった。項目別に見ると、売上額DIは大幅悪化、採算DIは小幅の悪化、資金繰りDIは不変となった。経営指導員から、悪化材料として、①消費マインドの低迷により、売上が伸び悩んでいる、②衣料品小売業で天候不順や仕入れ値の上昇により採算が厳しい、③食料品関係では仕入単価の上昇により、利益の上昇に繋がらない。また、好転材料として、①食品関連で高齢者の顧客がわずかに増加している、②観光需要やインバウンド需要、また域外への物流需要などに注力する企業は景況感が良いとの報告があった。

<サービス業> ◇…一部の観光業で回復の兆しはあるが、力強さを欠き足踏み状態のサービス業…◇

サービス業の業況DIは、変化なし。項目別に見ると、売上額DIは小幅の悪化、採算DIはわずかに悪化、資金繰りDIは小幅の改善となった。経営指導員から、悪化材料としては、①クリーニング関連で材料費の高騰により売上が減少している、②熊本地震の影響により、観光地の宿泊キャンセル等が発生していることや飲食店での外食控えが感じられる。また、好転材料として、①飲食店関連で観光客の増加により休日の稼働がよい、②宿泊関連で予約状況が昨年より早いとの報告があった。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	5月	6月	前月比	5月	6月	前月比	5月	6月	前月比
売上額	▲ 21.0	▲ 23.2	▲ 2.2	▲ 13.5	▲ 15.5	▲ 2.0	▲ 20.2	▲ 19.6	0.6
採算	▲ 23.7	▲ 24.5	▲ 0.8	▲ 20.8	▲ 25.7	▲ 4.9	▲ 27.5	▲ 22.8	4.7
資金繰り	▲ 21.1	▲ 19.8	1.3	▲ 17.3	▲ 18.4	▲ 1.1	▲ 25.1	▲ 22.1	3.0
業況	▲ 27.3	▲ 27.3	0.0	▲ 20.7	▲ 22.1	▲ 1.4	▲ 30.1	▲ 26.7	3.4

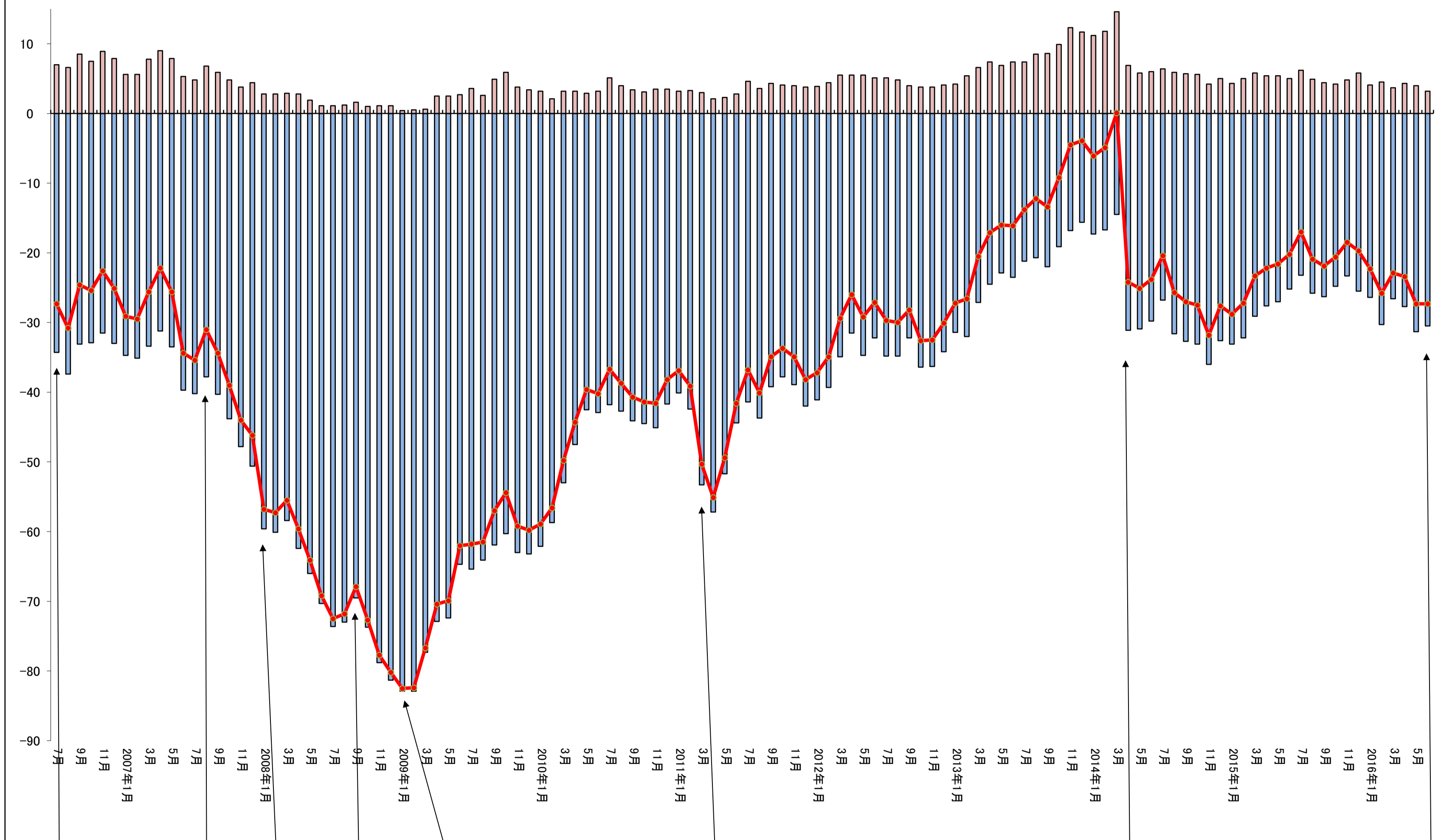
業種	小売業			サービス業		
	5月	6月	前月比	5月	6月	前月比
売上額	▲ 28.5	▲ 33.7	▲ 5.2	▲ 21.6	▲ 23.8	▲ 2.2
採算	▲ 28.3	▲ 30.8	▲ 2.5	▲ 18.2	▲ 18.7	▲ 0.5
資金繰り	▲ 23.9	▲ 23.5	0.4	▲ 18.2	▲ 15.5	2.7
業況	▲ 34.2	▲ 35.6	▲ 1.4	▲ 24.2	▲ 24.6	▲ 0.4

注) DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

小規模企業景気動向調査(月次)

産業全体の業況…過去10年のトレンド…

■ 悪化
■ 好転
● DI



06年7月14日
日銀ゼロ金利政策解除

07年8月9日
BNPパリバ、傘下の3ファ
ンドの償還を一時凍結

08年1月2日
NY原油先物初
の100ドル突破

08年09月15日
リーマン破産
法適用申請

09年1月
調査開始以来最低数値
(-82.5)記録

11年3月
東日本大震災

14年4月
消費税率8%に
引上げ

16年/6月
-27.3

小規模企業景気動向調査(6月期)における商工会経営指導員の主なコメント

*コメントについては、経営指導員回答の原文を掲載。

1. 景気全般

<改善傾向を示すコメント>

- ・地域経済は大きな変化がないように感じられる。建設業、宿泊業は若干好転している。
(沖縄県本部町商工会)
- ・観光サービス業の業績は、好調である反面、地域の小売業の経済状況は、売上が減少しており厳しい状況である。
(兵庫県南あわじ市商工会)
- ・公共工事の発注増加等により、建設業者の動きが活発である。しかし、小規模小売店では、大型店との競争に勝てず、衰退傾向。金融機関の対応として、条件変更等などにも柔軟に応じている。
(鳥取県中部商工会産業支援センター)
- ・熊本震災後の復興景気が福岡においても顕著化してきたように思われる。特に建設業(左官・屋根・基礎などの職人)の動きが活発化している。
(福岡県筑前町商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

- ・ほぼすべての業種において悪化が顕著になっており、特に製造業や小売業の悪化が明確になっている。金融機関の貸出姿勢は変わらないが、売上減少に伴う資金繰りの関係から融資相談が増えてきている状況。
(福岡県鞍手町商工会)
- ・前年と比較して個人消費は食料品や衣料品、耐久消費財等いずれも落ち込んでおり厳しさが増している。
(青森県大畑町商工会)
- ・国の経済財政政策の波及効果を実感できない状況下であり、購買力の低下や労働力不足など、地域の中小企業にとっては依然として厳しい経営環境となっている。
(秋田県よこて市商工会)
- ・全般的には、前年同期比と比較して大幅に変化は見られないが、製造業のうち輸出関連産業は、円高や海外の生産体制縮小により引き続き低迷傾向である。
(滋賀県瀬田商工会)

2. 製造業

<改善傾向を示すコメント>

- ・自動車関連、木工業に関しては受注が多く、残業をして製造をこなしている状況。賃上げして従業員の募集を行っても応募がないうらい人不足に困っている。
(岐阜県古川町商工会)
- ・繊維関連の製造業は、加工賃の変動はほとんどないが、輸出向け製品の数量は堅調に推移している。
(石川県中能登町商工会)
- ・食品関連の製造業で、健康、安全、安心にこだわった食品づくりをしている企業は売り上げが微増。
(石川県野々市市商工会)
- ・金属関連の製造業は受注が増え、業況は好転している。
(兵庫県太子町商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

- ・輸出関連産業は、円高や海外の生産体制縮小により引き続き低迷傾向である。
(滋賀県瀬田商工会)
- ・食品製造業は、仕入れ価格の高騰もあり、採算性が悪い状況になっている。景気は好転しているとは見られない。
(千葉県鋸南町商工会)
- ・繊維工業関連の製造業は、引き合いもあり、売上高は増加。売上高の増加に伴い、新たに従業員を雇い入れた
が、採算がとれない状況となっている。
(鳥取県中部商工会産業支援センター)
- ・機械・金属:6月売上高は昨年同時期の2/3程度。例年、6月頃から受注が回復してくるが、今期は回復が遅い。7月以降は大口受注もあり、回復の見込み。
(岡山県作州津山商工会)

3. 建設業

<改善傾向を示すコメント>

- ・建設業は、リフォーム関係の好調により安定した業績となっている。
(群馬県群馬伊勢崎商工会)
- ・採算・資金繰りが厳しい状況であるが、住宅関連ではリフォーム工事の受注が若干ながら増えている。
(愛知県長久手市商工会)
- ・建設業は、公共工事を中心に堅調に推移しているが、前年同期比と比較して上がり幅は若干落ち付いている。
(滋賀県瀬田商工会)
- ・大雨の影響で、土砂崩れ等もあり、土木工事業は多忙。昨年対比よりかなりの売上増加が見込めると考える。
(広島県呉広域商工会)

＜悪化傾向を示すコメント＞

- ・建築関連は、一時期、原材料等の仕入れ単価が上昇していたが、現在はやや安定しており大きな変動はみられない。ただ、人材不足が続いており、職人の確保や維持が経営課題となっている。
(秋田県よこて市商工会)
- ・前年度末より、公共工事の発注の減少が見られており、現在も動きが鈍いため、各社、手持ち工事が例年より少なくなっている。
(佐賀県唐津上場商工会)
- ・公共工事は減少気味であり、価格競争が厳しい。熊本地震の影響による材料上昇は落ち着いてきた。住宅の受注はあるが、人手不足で工期や着工予定がたたない。
(香川県さぬき市商工会)
- ・公共工事は依然として低調。建築需要についても市内の需要は非常に低調である。
(島根県雲南市商工会)

4. 小売業

＜改善傾向を示すコメント＞

- ・食品関連の小売業は、買い物難民の増加により、高齢者の顧客が微増している。
(群馬県中之条町商工会)
- ・地元の消費需要だけでなく、観光需要やインバウンド需要、また域外への物流需要などマーケットとしては明らかに存在する分野に注力する企業は景況感が良い。
(広島県呉広域商工会)
- ・中心部の直売所は安定した売上が続いている。
(宮城県丸森町商工会)
- ・衣料品は気温の低さにより夏物衣料が不調。食料品は揚げ物がやや好調。概ね惣菜全般が堅調。耐久消費財はオリンピックを控え、テレビは少々動きあり。またエアコンもやや好調。
(富山県射水市商工会)

＜悪化傾向を示すコメント＞

- ・小売業については、景気全般でもコメントしたように、消費マインドの低迷などによる、消費動向が鈍く客単価が上がらないため、売上が伸び悩んでいる事業所が多い。
(奈良県平群町商工会)
- ・衣料品：6月は雨が多く天候不順で、もともと少ない客通りがほとんどない状態だった。仕入れ値も10%程度上昇しており採算は非常に厳しい。小ロットで仕入れても全てを売り切ることができず不良在庫が増えている。
(山口県岩国西商工会)
- ・食料品関係は仕入単価がやや上昇傾向にあり、それに伴い売上もやや増えてはいるが、利益の上昇には繋がらない状況である。
(栃木県黒羽商工会)
- ・衣料品：来店客が減少し、売上が伸びない。食料品：6月は天候の影響により客足が若干減少した。客単価の減少傾向は続いている。魚、野菜類の仕入価格が上昇傾向にあり採算が厳しい。耐久消費財：全体的に前年同時期より減少している。回復の傾向は特に見られない。
(岡山県作州津山商工会)

5. サービス業

＜改善傾向を示すコメント＞

- ・宿泊、体験の夏の予約状況が昨年より早いとのコメントあり。
(静岡県西伊豆町商工会)
- ・飲食店関連のサービス業は、週末の観光客が増え始め休日限定ではあるが稼働振りが良い。
(青森県市浦商工会)
- ・旅館：宿泊、仕出し、宴会とみりピーターが多く、昨年に比べ売り上げが1割強増加している。
(岡山県作州津山商工会)
- ・理美容関連のサービス業は、カットだけでなくそのほかの施術を行うお客様が増えており、売上が増加している。
(岐阜県安八町商工会)

＜悪化傾向を示すコメント＞

- ・洗濯業は材料代の上昇により利益がやや減少傾向にある。
(栃木県黒羽商工会)
- ・宿泊業について、熊本地震に伴い修学旅行生の宿泊キャンセル等が発生しており、収益減となっている。
(長崎県琴海商工会)
- ・理美容業は、来店頻度が減り売上・利益とも減少傾向にある。
(愛知県小原商工会)
- ・熊本地震後、外食控えが感じられると多数の料理店から聞かれる。
(長崎県三重商工会)

小規模企業景気動向調査【付帯調査】

『地域小規模企業における賃上げの動向について』

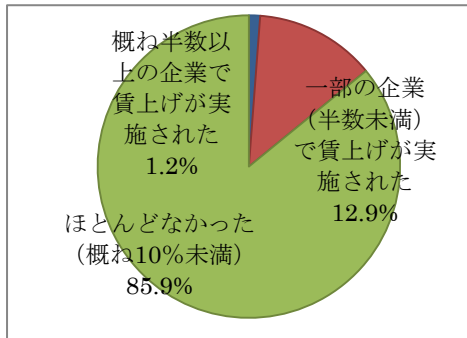
2016年7月27日
全国商工会連合会

<調査概要>

調査対象：全国約300商工会の経営指導員
調査時点：2016年6月末
調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

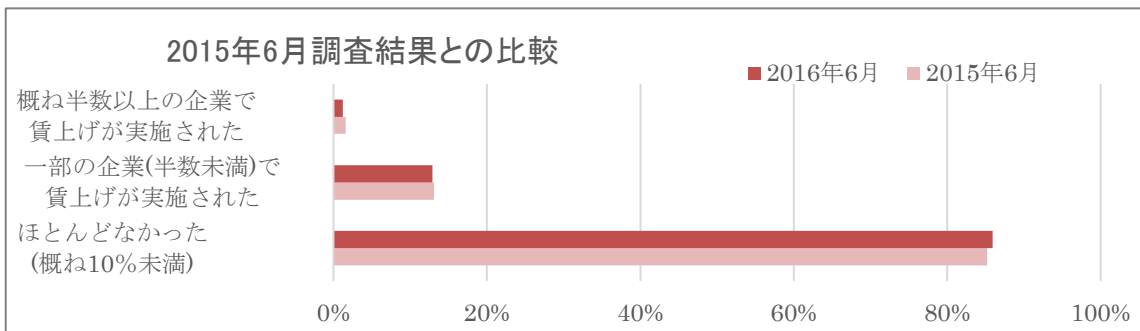
<調査結果>

1. 賃上げの動きについて

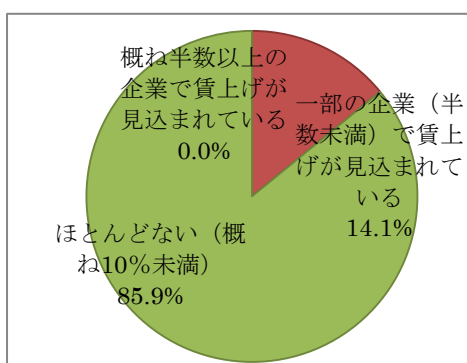


地区内の小規模企業において、ここ1年以内に賃上げの動きがあったかを聞いたところ、「ほとんどなかった(概ね10%未満)」が最も多く85.9%であった。次いで、「一部の企業(半数未満)で賃上げが実施された」が12.9%となっており、「概ね半数以上の企業で賃上げが実施された」は、全体の1.2%であった。

昨年(2015年6月)の結果と比較して、「ほとんどなかった」は0.6%増加、「一部の企業実施」が0.2%減少「概ね半数以上実施」が0.4%減少となった。

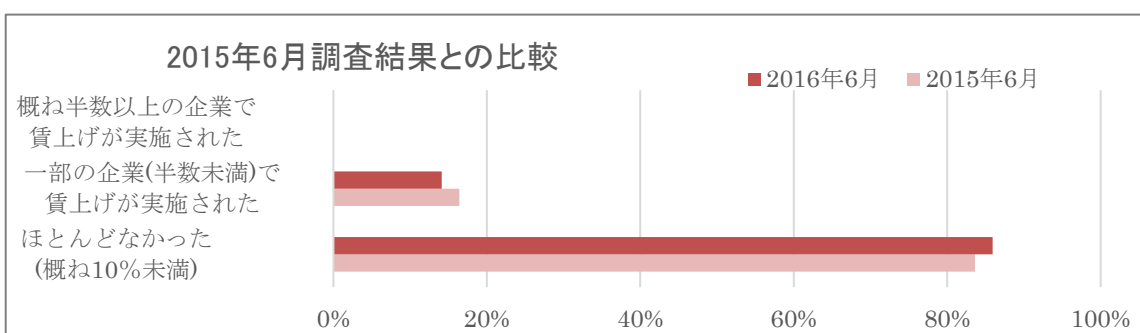


2. 賃上げの予定について



地区内の小規模企業において、今後(1年程度)、賃上げの予定があるかを聞いたところ、「ほとんどない(概ね10%未満)」が最も多く85.9%であった。次いで、「一部の企業(半数未満)で賃上げが見込まれている」が14.1%となっており、「概ね半数以上の企業で賃上げが見込まれている」との回答は無かった。

昨年(2015年6月)の結果と比較して、「ほとんどない(概ね10%未満)」は23%増加し、「一部の企業で見込まれる」が23%減少となった。



3. 賃上げに関する小規模企業の状況について(主なコメント)

・賃上げの実施及び見込みが「ある」とされた主なコメント

- 景気動向調査を行っている10業種企業について調査を行い、機械金属製造業と衣料品小売業で賃上げ実績があった。また今後の賃上げについては、機械金属製造業で予定されている。(岡山県浅口商工会)
- 建設関連企業は復興需要により利益が出ているので、従業員給与にも反映がある。水産加工業及び宿泊業については人手不足により従業員確保のため時給を若干であるが高めに設定している。(岩手県大槌商工会)
- 建設業は業績が良かったが、賃上げではなく従業員の福利厚生充実を図ったり、ボーナスに反映する企業もあった。(和歌山県北山村商工会)
- 昨年10月の最低賃金の改定により賃金額が上昇している。また、隣接する広島県の人手不足に連動して、新規求人の際の賃金額が上昇している。(山口県岩国西商工会)
- 人手不足の業種である建設業、旅館業で一部若干の賃上げが見られた。(静岡県沼津市商工会)
- 積極的な営業により業績を伸ばしている事業者では、定期昇給を含め、従業員の意識向上を目的に賃上げしている企業はあるものの、地域全般ではなかなか景気の改善が見えていない状況もあり、今後の景気観の見通しも好転していないため、賃上げに着手している企業は多くない状況である。(鳥取県米子日吉津商工会)
- 小規模事業者持続化補助金をきっかけとして賃上げに取り組んでいる事業所がいくつかある。(滋賀県甲良町商工会)
- 当社の業績が上昇する状況であれば、9月頃賃上げを考えたいとした企業が2～3ある。(山梨県富士川町商工会)

・賃上げの実施及び見込みが「ない」とされた主なコメント

- 増収増益となっている企業でも、先行き不安と一度上げた賃金は下げにくいことから賃上げには慎重になっている。(佐賀県牛津芦刈商工会)
- 小規模事業者においては、賃上げを実施できるほどの収益増になっていない状況である。(岐阜県関市東商工会)
- 人材の確保が難しい状況にあり求人を出しても人が集まらないことから、賃金を上げることで優秀な人材の確保を行うように取り組んでいる。但し、企業業績が好調なことから賃上げを行う企業はわずかであり、ほとんどが厳しい業況ながら人材確保のために賃上げする企業が散見されるというのが現状。(福岡県鞍手町商工会)
- 業種にもよるが、業績好調の事業所でも短期的な売上増の場合、賃金部分の値上げは、コストの増加という見方が強く、継続した売上上昇が見込めない事業所においては、賃上げを検討する段階にすら向かっていないように見受けられる。
ただ人材が不足しがちな建設業においては、高い賃金を払ってでも仕事を回したい事業所と、コスト増とその後の売上減のリスクを考え、躊躇する事業所に分かれている。(広島県広島安佐商工会)
- 若手雇用がほとんどなく、65歳を過ぎた従業員が多く賃上げはほとんど見られない。(静岡県菊川市商工会)
- 賃上げをするほどの余裕がない小規模企業がほとんど。業況についても大幅な改善は考えにくいことから、当面は同様の状況が続くようである。(千葉県印西市商工会)
- 製造拠点の海外移転や製造部門の海外企業への売却の影響で、労働集約型の小規模製造業者は窮地に立たされている。商業やサービス業の分野では、コンビニやチェーン店の台頭が一層進んでおり、小規模事業者が賃上げを考える余地はない。(山梨県笛吹市商工会)
- 全般的に小規模企業では、利益を十分確保していない状況のため、賃上げにまでは至っていない。(東京都小平市商工会)